

令和5年10月定例弥彦村教育委員会会議録

弥彦村教育委員会は、令和5年10月10日午後1時30分弥彦村役場別館会議室に召集された。

1. 出席したものは、次のとおりである。

2. 小野塚 正史、渡邊 一嘉、米山 信、阿部 千恵、外山 尚子

3. 出席した職員は、次のとおりである。

こども教育課長 富田 憲、社会教育課長 小出 将浩、管理指導主事 堀 正士、

公民館長 堀 隆行、指導主事 星 康司、こども教育課こども教育係長 小竹 由美

4. 議題は次のとおりである。

(1) 開会宣言

(2) 会議録署名委員の指名について

(3) 定例教育委員会会議録の承認について

(4) 報告事項

報告第1号 9月定例教育行政報告について

報告第2号 9月定例議会報告について

(5) その他

1) 弥彦村教育委員会委員の任命について

2) タブレットの使用ルールについて

3) いじめ認知等について

4) 中学校部活動の地域移行の進捗状況について

5) 次回定例教育委員会の日程について

小野塚教育長は、午後1時30分に開会を宣言し会議録署名委員に次の委員を指名した。

渡邊委員

指名された委員は、これを承諾する。

教育長より9月議会にて新教育委員として外山尚子委員が承認されたことの説明があった後、教育長より外山委員へ任命書が渡された。

教 育 長 9月定例会会議録の承認について意見はないか。
(意見なし)

教 育 長 9月定例会会議録を承認する。

教 育 長 教育長報告を報告第1号 9月定例教育行政報告をもって代えさせていただく。

(教育長より説明が行われ、引き続き社会教育課長より社会教育関係事業実施状況の報告が行われた。)

教 育 長 報告第1号について質疑はないか。

米 山 委 員 村史講座、神社講座、一宮大学の違いを説明してほしい。

公 民 館 長 村史講座は、村の歴史を知りたいという村民の要望を受けて、村史をよくご存じの方を講師に招き、年3回程度開催している。神社講座は、彌彦神社のことをよく知るための講座で年4回開催している。人気もあり、村外からの受講者も多い。一宮大学は55歳以上を対象にしたものであり、16名程度の参加がある。年10回の講座を開いており、高齢者の楽しみや仲間づくりに繋がっている。

渡 邊 委 員 弥彦書友会の活動場所について、会場変更の提案を受け、ふるさと学校からサン・ビレッジ弥彦に変更させていただいた。空調も利き、送迎もしやすく、とても良かったと保護者からの感謝の声があがっている。また、熱中症対策として体育祭期日変更を検討との話があったが、ふるさとワークの期日についても変更してはどうか。

教 育 長 来年度のふるさとワークの期日について、中学校は他の行事との兼ね合いを考えながら日程変更の検討をしていると報告を受けている。
(他質疑なし)

教 育 長 報告第2号 9月定例議会報告について説明をお願いしたい。
(こども教育課長より説明が行われた。)

教 育 長 報告第2号について質疑はないか。

米 山 委 員 来年度以降のモンゴル交流事業の予定は、どの程度決まっているのか。

教 育 長 確定はしていないが、今後、隔年で行き来する方向で調整しており、令和6年度は訪問し、令和7年度は訪問を受ける予定。また、最初の調印から日が経っており、双方の村長も変わっていることもあって、今年度の訪問時に改めて調印を行う予定である。

米 山 委 員 「改めて日本の良さに気付いた」「親に感謝したい」という子どもの感想も見られ、教育的効果の観点から、今後も継続して実施してほしい。

教 育 長 議員からは修学旅行でモンゴルに行つてはどうかという意見も出ている。中学校1年生の修学旅行のアンケートには、海外という選択肢を入れている。

渡 邊 委 員 ヤヒコザクラについて、種子をまくと形質が変わつてしまい、ヤヒコザクラでなくなつてしまう。形質が変わらないためにも、接ぎ木や挿し木でヤヒコザクラを守つていってほしい。

教 育 長 ご指摘ありがたい。接ぎ木や挿し木でヤヒコザクラを守つていきたい。
(他質疑なし)

教 育 長 その他なにかあるか。

(こども教育課長、社会教育課長より10月の行事予定について、教育長より小中学校タブレットの使用ルール、いじめ認知等、中学校部活動の地域移行の進捗状況、新潟県公募制人事について説明があった。)

教 育 長 次回定例会の日程はどうか。

(次回定例会を11月8日(水)に開催する確認がなされた。)

以上、予定された会議日程をすべて終了し小野塚教育長の閉会宣言がなされた。

閉会時刻 午後2時34分

教育長 小野塚 正 史

会議録署名委員 渡 邊 一 嘉